

1 年 1 組

 あんなことしたい こんなことしたい
 ～やってみてみたいが溢れる毎日～


もっとやりたい ペったんわーんど

入学したばかりの4月、図工で「ペったんわーんど」をしました。最初は青色で、紙コップとペットボトルキャップを使ってやりました。スタンプのようにおしたり、ローラーのように転がしたりと思いついた方法で表現をしていた子どもたちですが、感触が気に入ったのか、「手でもおしてみたい」ということで、手でおし始める子も出てきました。存分に楽しんだところで授業の振り返りをすると、Aさんは「もっと大きな紙にやってみてみたい」と自分の願いを語ってくれました。すると、そのAさんの言葉から「いろいろな色をつかってみたい」「他のものも使ってみてみたい」と、子どもたちは次々に願いを語り出しました。入学して間もない1年生ですが、自分の思いを、自分の言葉で堂々と伝えてくれる姿に、たくましさを感じました。



そして迎えた次時では、色を赤、青、黄色の三原色に増やし、ペったんするものも、様々なものを用意しました。新しい色や使えるものを見た子どもたちは、目を輝かせながら、夢中になって活動を始めました。前回以上に様々な模様が生まれる中で、BさんやCさんは、「赤と青が混ざると紫になったよ」「青と黄色で押したところが緑っぽくなった」と、色の変色についての気づきを嬉しそうに語っていました。それぞれが一枚の画用紙の上に出来上がった世界を楽しんだ後は、いよいよお待ちかねの大きな紙に全員でペったんをしました。子どもたちは、こちらの想定を超えてくる程、服や体が汚れることを気にせず、満足するまで、ペったんし続けていました。今までとは違い、学級全員で一つの紙にペったんをしたことで、友だちと相談しながら模様を作ったり、友だちと自分がつけた色や模様の違いを味わったりと、また新たな楽しみ方もしていました。出来上がった作品を見た子どもたちは「おー！！」と世界に一つだけの

自分たちの作品に見入っていました。子どもたちの願いが生み出した「ペったんわーんど」、最高に楽しい時間でした。



